

増山 裕亮プロ (31歳)

Profile

15歳からサーフィン始めて、2011年にプロへ転向。スタイリッシュなサーフィンスタイルが魅力的。ホームポイントはチキン。

Answer

- 1: 広い範囲で砂浜が広がっているの、いろいろなポイントで波が割れます。年間を通して波があるので、サーフィンするには最高です。
- 2: 海沿いの道にサーフショップがあり、そこで情報収集できるので便利です。また、田原市内の飲食店ではサーファーのスタッフがいるお店も多いので、仲良くなるのもいいと思います。
- 3: とにかく来てください。田原は良い所です。



photo:近藤洋介

田原市在住の
プロサーファーに聞く
田原の、いいとこ。

海のこと、暮らしのこと。

田原市在住のプロサーファー4人から見た
「田原のいいところ」を紹介します。

- Q1: 田原の海の魅力やサーフィンの環境について
- Q2: 田原でサーフィン暮らしをするために知っておくと便利なこと
- Q3: 移住したい! と思っている読者に一言

鈴木 マリーンプロ (22歳)

Profile

高校卒業とともに本格的にサーフィンを始め、2016年にプロへ転向。田原市初の女性プロサーファーとして活躍中。ホームポイントはロコ・新日本。



Answer

- 1: 田原の海はたくさんのポイントがあるので、混雑を避けて楽しくサーフィンができます。また、トイレやシャワーの設備も整っているので、他県から来た人も安心できる環境が魅力です。
- 2: 気軽にサーフィンができる環境が揃っているの、快適な「サーフィンライフ」を送れると思います。
- 3: 田原に来たら、毎日楽しいサーフィンライフが実現できます。海で見かけたらぜひ気軽に声をかけてくださいね。



photo:近藤洋介

杉原 康幸プロ (31歳)

Profile

11歳からサーフィンを始め、2005年に田原市の第一号プロサーファーに。ホームポイントはロングビーチ・ロコ・新日本。

Answer

- 1: 太平洋に面しているため、波の反応が良くポイントが狭い範囲に数多くあるので、波やレベルに合わせやすいのが特徴です。また、海水がとてもきれいで、水の上からの景色が好きです。
- 2: 野菜などの食べものがおいしい&豊富。農家さんと仲良くなるのがオススメです。
- 3: 自然豊か・食が豊か・波が豊かな田原市へぜひお越しください。



photo:M.Kitamura

鈴木 勝大プロ (31歳)

Profile

2007年にプロへ転向し、2011年に道の駅あかばねロコステーション内にサーフショップをオープン。ホームポイントはロングビーチ・ロコ。

Answer

- 1: 初心者からエキスパートまで、幅広く楽しめるポイントがあります。整備されている無料の駐車場・トイレもあり、車でアクセスしやすいのが特徴です。そして、海の中から見るとサンセットは格別です。
- 2: 田原は、自然が豊かな場所で農業がとても盛んです。海沿いには、さまざまな産地直販所があり新鮮な野菜や果物が買えます。海の帰りにぜひ立ち寄ってほしいです。
- 3: 今まで乗ったことのないGOOD WAVEに乗れますよ。



photo:近藤洋介

12年前に田原市へ移住した菅原さん家族。毎朝親子でサーフィンをし、そのまま会社や学校へ行く生活を送っている。「親子で共通の趣味があるので楽しいです。たくさんのつながりができて、いろんなことを吸収できます。」と秀児さん。暮らしていく中で、地域活動に参加したりと、近所の人とコミュニケーションをとることができてうれしかったそう。現在、北海道のご両親も呼び寄せて一緒に暮らしている。住んでみてさらに田原市が好きになったとうれしそうに話してくれた。



舞人 さん(16歳)
お父さんの影響でサーフィンを始める。小学6年生で出場した大会で初優勝を飾る。

菅原 秀児 さん(46歳)
北海道生まれ。高校卒業後豊田市で就職しサーフィンを始め、転勤の関係で田原市へ。

親子で早朝サーフィンをしてから、仕事や学校へ。
～ 会社員：菅原さん ～

海が身近にあることで、心のゆとりにもつながった。
～ 美容師：馬淵さん ～



馬淵 哲男 さん(40歳)
岐阜県各務原市で美容院を営む。移住とともに市内で美容院を営む。

仕事が多忙で休みが全然取れず、海へ行くにも往復6時間かかる場所に住んでいた森屋さん。「自分の好きなことがやりたい」とサーフィンが気軽にできる環境の田原市に移住を決め、自然栽培の農業をしながら、好きなときに海に行ける暮らしを送っている。また、昔から古民家に住むことが憧れでもあり、人づてに古民家を探して、現在、古民家を手直ししながら生活をしている。



森屋 政則 さん(37歳)
東京都練馬区生まれ、埼玉県川越市育ち。田原市へ移住し、自然栽培の農業を営む。

サーフィンは生活の一部！憧れの暮らしを実現。
～ 農業：森屋さん ～

営業前・後にサーフィンができる暮らしに大満足！
～ 飲食業：清水さん ～



清水 昌弘 さん(41歳)
兵庫県神戸市で生まれ育つ。35歳で田原市へ移住し、現在市内で飲食店を営む。

以前、田原に移住しようと思ったが土地が見つからず断念。その後、長男が小学校に進学するタイミングで2度目の移住チャレンジをし、良い場所に土地があり一目惚れ！後悔はしたくないと移住を決意。岐阜では、美容院を2店舗経営していたこともあり、「仕事＝生活のため」で心に余裕がなく日々ストレスもたまっていた。しかし移住後は、海を身近に感じることができ、子どもと接する時間もグッと増えたそう。全く違うライフスタイルで、心から満たされる生活を送っている。

神戸では海が見える街に住んでいた清水さん。母が観光に来た田原市を気に入り先に移住。会社員を辞めて自分のお店を出したいと、母の住む田原市へ。現在、自宅の2階から海が見え、波のチェックができる場所で暮らしている。海にはお店の営業前に入って、夕方もう1回入る日々を過ごしている。「移住者の人も多く、みんなとても優しいです。田舎だから不便かなと思っていたのですが、欲しいものはネットで購入できたりするので、快適に過ごしています。」